

## さわやかに涼を楽しむ

夏全開!梅雨が明け、日中は厳しい日差しが肌をジリジリと照りつけ、立っただけでも汗がたらたら。それでも、日が沈む頃には少し暑さも和らぎ、心地よい風が吹くのが感じることがあります。日差しの和らぐ時間、“涼”を探しに出かけてみませんか。

### まちなかにある 水と緑の庭

国際通りとモノレール牧志駅に直結する「さいおんスクエア」。そこには、まちなかにありながらも落ち着いた静けさを感じることができる 親水庭園があります。

河川沿いに整備されたテラスや遊歩道は、水辺のくつろぎ空間を創り出し、だれでも気軽に立ち寄れる憩いの場所になっています。夕方、遊歩道脇の芝に腰をおろすと、せせらぎの音が耳に心地よく、川面から吹く風が日中の暑さに疲れた体を癒してくれます。まちなかで感じる穏やかな時間。水面を眺めているだけでも安らぎや落ち着きを得ることができます。

スロープから水際近くへと続く遊歩道で、たそがれ時をゆっくりとお散歩してみても、いかがでしょうか。

早朝ならサガリバナの甘い香りに出会えるかも…

涼しい〜



さいおんうふシーサー



※深い草むらや茂みには近づかないようにしましょう。



### 地面から噴き出る「霧の噴水」

モノレールおもろまちな駅を降りると、新都心公園「水の道エリア」があります。白い煙が出ている!?と思いきや、出ているのは「霧」なんです。

何も無い空間に突然真っ白な霧が噴き出すと、遊びに来ていた子どもたちはワーキヤーと歓声をあげ、大はしゃぎ。一緒に歩いて入ると、周りの空気がひんやり涼しい!

これは、霧が蒸発するときの気化熱によって周辺の温度が下がり暑さを和らげてくれるからなんです。

毎正時には霧とともに音楽が再生。「ていんさぐぬ花」「安里屋

ゆんた」など琉球民謡4曲のチャイムがやわらかく響き時報を知らせます。

日が暮れると、地面から噴き出す霧をフルカラーLEDがライトアップ、幻想的な空間を作り出します。直径およそ20メートルの噴水の中は、沖縄の太陽をイメージした時計になっており、光の点滅によって時刻を表します。

霧の噴水は、毎日、午前10時から午後10時まで、15分間隔で霧が噴き出し、光の演出は日没から行われます。センサーを通過すると開始する演出もありますので、ぜひ体感してみてください。

### 広大な敷地で「涼」を感じる

那覇市真嘉比の閑静な住宅地に広がる「真嘉比遊水池」。ここは、洪水や水害を防ぐために真嘉比川から入る雨水を一時的に貯留する施設です。「池」といっても、普段はのびのびと遊べる大芝生広場。青々とした芝生の広場はスポーツやイベントなどに利用することができます。広場の周りには遊歩道も整備され、ジョギングやウォーキングに最適。適度に涼やかな風が心地よく、木々の揺れる音が「涼」を運んでくれます。上池広場近くには野鳥も飛来し、鳥のさえずりを聞きながら身体を動かすことができます。



大きいバッタみつけた〜!

広場を利用の際は公園管理課へお申込みください。公園管理課 ☎ 951-3239

#### 主な紙面

- 特集 さわやかに涼を楽しむ……………1
- ほけんインフォメーション……………2
- 臨時福祉給付金&子育て世帯臨時特例給付金ノ7月8日「なはの日」イベント……………3
- 夏やすみイベント情報……………4~5
- 情報バック……………6~7
- 協働さんノ博物館トピックスノニュースダイジェスト……………8